

## 安全データシート (SDS)

### 1 製品及び会社情報

#### 製品の名称

製品名 男前モノタロウ クリームワックス(ツヤ出しコーティング剤)

#### 会社情報

会社名 株式会社 MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX 番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
整理番号 M180426

#### 推奨用途及び使用上の制限

塗装面、金属面用艶出し剤

### 2 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

分類できない

##### 健康に対する有害性

分類できない

##### 環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) 区分 2

水生環境有害性 (長期間) 区分 2

#### GHS ラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

なし

##### 危険有害性情報

水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

##### 注意書き

[安全対策]

環境への放出を避けること。

[応急措置]

漏出物を回収すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

#### 他の危険有害性

情報なし

#### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

該当しない

### 3 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物

#### 組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
ミネラルスピリット	64742-47-8	労安法 9-551	25
シリコン類	-	-	5
ポリエーテル変性オルガノポリシロキサン	-	-	3
ポリテトラフルオロエチレン	9002-84-0	化審法 6-939	1
水	7732-18-5	-	65～68

### 4 応急措置

#### ばく露経路による応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水および石鹼で洗い流す。症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な流水で15分以上洗顔した後、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

#### 予想される急性症状

情報なし

#### 遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

#### 応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

#### 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

---

## 5 火災時の措置

---

### 適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

### 使ってはならない消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

### 特有の危険有害性

情報なし

### 特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。消火活動は可能な限り風上から行う。

### 消火を行う者の保護

消火作業では保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

可能な限り保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用し、作業は風上から行う。

### 環境に対する注意事項

漏出物を直接に河川や下水、海域に流してはいけない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合は土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。回収後の残留物は土砂又はおがくず等に吸収させる。

残留物がごく少量の場合は大量の水で洗い流す。少量の場合は吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

#### 技術的対策

保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。粉じん、ミストを吸入しない。

#### 安全取扱注意事項

空容器は適切に管理し又はそれを廃棄する場合は残留物のないことに留意する。

作業場の換気を十分に行う。

取り扱いは、漏れ、あふれ、飛散しないように注意し、皮膚や粘膜に触れたり、目に入らないように注意する。取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

#### 接触回避

混触禁止物質

#### 衛生対策

取扱い後は良く手を洗い、衣類を洗濯する。

汚染箇所を良く洗う。

## 保管

技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	強酸化剤、腐食性液体・ガスとの接触
保管条件	直射日光を避け、風通しのよい屋内冷暗所に密栓して保管する。
容器包装材料	接液部は樹脂製の容器が良い。

---

## 8 ばく露防止及び保護措置

---

### 管理濃度

設定されていない。

### 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV（2017）	設定されていない。
日本産業衛生学会（2017）	3 mg/m <sup>3</sup> （鉱油ミスト）

### 設備対策

できるだけ完全密封された装置を使用し、全体換気を適正に行うことが望ましい。  
蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。  
作業場に洗眼、洗身設備等を設置する。

### 保護具

呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼の保護具	側面付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣、ゴム長靴

---

## 9 物理的及び化学的性質

---

外観（物理化学的状态、形状、色など）	灰白色液体（30°C）
臭い	石油系溶剤臭
臭いの閾値	情報なし
pH	9.2
融点・凝固点	0°C以上
沸点、初留点及び沸騰範囲	約 100°C（水）
引火点	なし（97°Cで沸騰）
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	上限：示さず、下限：示さず
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	1.01～1.05（25°C）
溶解度	水：可溶
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし

分解温度	情報なし
粘度	情報なし

## 10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取り扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	自己反応性はない。
避けるべき条件	高温多湿
混触危険物質	強酸化剤、腐食性液体・ガスとの接触
危険有害な分解生成物	炭素酸化物

## 11 有害性情報

### 製品の有害性情報

情報なし

### 成分の有害性情報

#### ミネラルスピリット

急性毒性（経口）	ラット LD <sub>50</sub> > 15,000 mg/kg
	ラット LD <sub>50</sub> = 5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット LD <sub>50</sub> > 5,000 mg/kg
急性毒性（吸入：ガス）	LC <sub>50</sub> （4時間値）が飽和蒸気濃度より大きく、低毒性である。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	軽度の皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	殆ど刺激なし。

## 12 環境影響情報

### 製品の環境影響情報

生態毒性	水生生物に毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	化学的、物理的性状から水域に移動しうる。
オゾン層への有害性	情報なし

### 成分の環境影響情報

#### ミネラルスピリット

水生環境急性有害性	魚類（ブルーギル）96時間 LC <sub>50</sub> = 2.2 mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

---

## 13 廃棄上の注意

---

### 残余廃棄物

おがくず等に混ぜて焼却炉で少しずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

### 汚染容器及び包装

空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

---

## 14 輸送上の注意

---

### 国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	3082
品名	環境有害物質、液体、他に品名が表示されていないもの
国連分類	9
副次危険性	-
容器等級	III

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	3082
品名	環境有害物質、液体、他に品名が表示されていないもの
国連分類	9
副次危険性	-
容器等級	III
海洋汚染物質	該当する
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	3082
品名	環境有害物質、液体、他に品名が表示されていないもの
国連分類	9
副次危険性	-
容器等級	III

### 国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

**特別の安全対策：**

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
直射日光を避ける。  
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

---

**15 適用法令**

---

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（灯油）（0.1 重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（灯油）（1 重量%以上を含有する製剤その他の物） 第3種有機溶剤等（ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む）（有機溶剤を5重量%を超えて含有するもの）
---------	--

---

**16 その他の情報**

---

参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料  
NITE GHS 分類結果一覧 (2018)  
日本産業衛生学会 (2017) 許容濃度等の勧告  
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2017) TLVs and BEIs.

**【注意】** 本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。